

令和7年度 公益財団法人愛知公園協会事業計画について

1 運営方針等

(1) 運営方針

青少年の健全な育成、県民の健康の増進及び県民の豊かな人間性の醸成に寄与することを目的として、愛知県から指定管理者として受託した愛知県児童総合センター・海南こどもの国・愛知県民の森・愛知県緑化センター・愛知県昭和の森・愛知県弥富野鳥園の6施設を活用した事業を実施してまいります。

また、施設の設置目的に沿った管理運営を行うために「楽しく安全な公園づくり」を基本理念として、次の5つの重点事項及び運営方針に留意し、適正かつ円滑な運営に努めるとともに、役職員の意識向上に努めてまいります。

ア 重点事項

- (ア) 魅力ある事業の展開
- (イ) 利用者の安全確保
- (ウ) 利用者ニーズへの的確な対応
- (エ) サービスの向上
- (オ) 効果的な運営

イ 運営方針

- (ア) 連帯感・一体感の醸成
- (イ) サービス精神の向上
- (ウ) 士気の高揚
- (エ) 経済性の発揮
- (オ) 利用の向上

(2) 令和7年度理事会及び評議員会の開催（予定）

- | | | |
|--------|----------|--------|
| ア 理事会 | 第1回定例理事会 | 令和7年5月 |
| | 第2回定例理事会 | 令和8年3月 |
| イ 評議員会 | 定時評議員会 | 令和7年6月 |
| | 評議員会 | 令和8年3月 |
- (その他必要に応じて開催)

(3) 監 査

ア 例月監査及び書面監査

会計関係諸帳票その他の書類について行う。

イ 業務状況監査

業務の執行状況について行う。

ウ 決算監査

前年度の決算について行う。

(4) 職員の現員数

令和7年4月1日現在(単位人)

所 属		現員数
総 務 課		8
事 務 所	児童総合センター (管理施設：愛知県児童総合センター)	15
	海南こどもの国 (管理施設：海南こどもの国)	9
	県民の森 (管理施設：愛知県民の森)	5
	緑化センター (管理施設：愛知県緑化センター、愛知県昭和の森)	13
	弥富野鳥園 (管理施設：愛知県弥富野鳥園)	2
合 計		52

2 事業実施計画

愛知県から指定管理者として指定を受けた施設を適正に管理運営するとともに、青少年の健全な育成、県民の健康の増進及び県民の豊かな人間性の醸成に寄与することを目的として、各施設を活用して次の事業を実施します。

(1) 愛知県児童総合センター事業計画

ア、事業の実施

愛知県児童総合センターにおいて、児童の健全育成のための遊びや学びの場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
体験・育成	特別企画	年 3 回	—	入館者
	発見！あそびの基地	年 3 回	—	入館者
	集団活動事業	年 4 回	各 10～15 人	希望する児童等
	屋外環境づくり事業	不定期	—	希望する児童等
	他団体等との共同事業	連携団体と協議のうえ、決定	連携団体と協議のうえ、決定	希望する児童等
開発・調査	遊具・あそびのプログラム開発	年 1 回	—	—
	アンケート等の実施	原則、秋期、特別企画開催時	—	入館者
	その他の事業	随 時	—	—
養成・研修	愛知県児童館連絡協会の事務局・役員としての参画	総会1回・役員会7回 研修会9回	—	市町村児童館職員等
	市町村職員及び児童館職員に対する研修	年 6 回	—	市町村児童館職員等
	子育て支援者等のボランティア研修	年 1 回	10～15 人	子育て支援者または子育て支援ボランティア希望者
	その他の事業	随 時	—	—
普及・啓発	あそびの相談事業	随 時	—	市町村児童館職員等
	移動児童館事業	年 20 回	—	地域の児童や親子
	県内市町村の全児童館の交流大会	年 1 回	—	市町村児童館職員等
	子育てひろば（あのねっとのへや）の開設	原則常時	—	入館者
	小さい子どもたちと親等のための遊びのプログラムの開発と提供	年 30 回程度	各 15 組程度	希望する未就園児とその親

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
普及・啓発	親子で遊ぶクラブ活動	年 1クール (週 1 回・5 週連続)	10 組程度	幼児とその親
	お父さん応援プログラム	原則第 3 日曜日	各 15 組程度	父親とその子ども
	子育て支援の基盤づくり	年 2 回程度	——	入館者
	あそびのプログラム集の発信	年 1 回	——	市町村児童館職員等
	その他の事業	随時	——	——

イ、有料施設利用者数

施設の利用者数は、次のとおりとする。(入場料免除者を含む)

施設名	概要	利用者数
愛知県児童総合センター	1 F チャレンジタワー、あそびのスタジオ1、あそびのスタジオ2、とことこのへや（幼児コーナー）、体験ゾーン「こどもの森」、発見ゾーン「あそびラボ」、ロボットシアター、水のひろば、アトリウム 2 F チャレンジタワー、あそびステーション、キッチンスタジオ、あのねっとのへや（子育てひろば）、えほんのへや、発見ゾーン「音・光」、コラボラボ（コラボレーションコーナー） 展望フロア	380,000人

ウ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(2) 海南こどもの国事業計画

ア、事業の実施

海南こどもの国において、児童の健全育成のための遊びや学びの場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名			開催回数	募集定員	参加対象
常設事業	竹馬などの遊具を使った遊びの指導		毎日 (休業日を除く。)	——	入園者（こども中心）
個別事業	春季事業 (4月～6月)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなであそぼう～らくがき遊び～、みんなであそぼう～謎解きゲーム～、みんなであそぼう～自然のプレートをつくろう～、写生大会、みんなでつくろう～こいのぼり～、みどぼんまつり、ミニ汽車に乗ろう、ジャブジャブ池観察(春)、つくってあそぼう～風鈴をつくろう～、フリスビーゴルフをしよう、なにができるかな～竹細工をしよう～、みんなであそぼう～つみきであそぼう～、七夕かざりをつくろう ・野菜収穫体験 	土日祝日 (38回)	——	入園者（こども中心）
	夏季事業 (7月～8月)	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなであそぼう～ウォーターガンバトル～、金魚まつり、プールチャレンジ5※、みんなであそぼう～プールでゲーム～ ・野菜収穫体験 	土日祝日等 (10回)	——	〃
	秋季事業 (9月～11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンティングワードクロス、まんまるつるつる～どろだんごをつくろう～、みんなであそぼう～らくがき遊び～、ミニ汽車に乗ろう、絵本の読み聞かせとしゃぼん玉、秋まつり、つくってあそぼう～手づくりおんがくたい～、どんぐり工作をしよう ・野菜収穫体験 	土日祝日 (31回)	——	〃
	冬季事業 (12月～3月)	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスキャンドルをつくろう、家族でつくろう～ミニ門松～、お正月あそび～ジャンボカルタとり～、新春かきぞめ大会、つくってあそぼう～たこをとばそう～、絵馬をつくろう、みんなであそぼう～ひなかざり～、みんなであそぼう～記録に挑戦～、みんなであそぼう～ボール～ ・野菜収穫体験 	土日祝日等 (37回)	——	〃

※「プールチャレンジ5」は開催回数から除く。

イ、 有料施設利用者数

各施設の利用者数は、次のとおりとする。

施 設 名		規 模	利 用 者 数
遊 戯 施 設	足踏み式ゴーカート	1人乗り36台、1周500m	111,893人
	水上自転車	3人乗り15台	110,829人
水 泳 施 設		幼児用1槽、児童用1槽	7,278人
延 計（無 料 利 用 者 を 除 く。）			230,000人

ウ、 施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営を行うとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(3) 愛知県民の森事業計画

ア、事業の実施

愛知県民の森において、県民の健康増進のためのレクリエーション活動に関する場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
お誕生月の宿泊プラン	通年	——	モリトピア愛知宿泊者
県民の森ポイントラリー	通年	——	一般
お風呂の日	年12回	各30人	日帰り入浴者
春まつり	年1回	——	一般
ウォーキング＆ランチ	年2回	各20人	一般
探鳥会（バードウォッチング）	年1回	10人	一般
こどもの日「森のクイズラリー」	年1回	20人	一般
県民の森ハイキングコースツアー	年1回	20人	一般
グラウンドゴルフ大会	年1回	48人	一般
自然観察会	年1回	20人	一般
七夕飾りづくり	年1回	——	一般
第41回県民の森写生大会	年1回	100人	幼児、小・中学生
合同キャンプファイヤー	年9回	各100人	宿泊者

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
小学生キャンプ	年 1回	25人	小学生
カウンセラーとハンバーガーづくり	年 1回	40人	一般
秋まつり	年 1回	—	一般
ホールインワン・グラウンドゴルフ	年 1回	20人	一般
森のバウムクーヘンづくり	年 1回	40人	一般
しいたけ菌打ち	年 1回	20人	一般
湯谷温泉花まつりプラン	2月 4回	各 10人	モリトピア愛知宿泊者
四季のつどい (ホテル観賞、魚つかみ&炭火焼き、ファミリーキャンプ、年末宿泊プラン、年始宿泊プラン)	年 12回	各 30人 (ファミリーキャンプは40人)	モリトピア愛知宿泊者、他

イ、 有料施設利用者数

各施設の利用者数は、次のとおりとする。

施 設 名	概 要	利 用 者 数
宿 泊 施 設	1 5 0 人収容（和室 2 6 室、洋室 2 室、第 1 日本間）	8, 8 0 0 人
会 議 室	6 室（第 1 ・ 1 5 0 人、第 2 ・ 1 5 0 人、第 3 ・ 2 4 人、第 4 ・ 1 6 人、第 1 日本間・ 1 5 0 人、第 2 日本間・ 8 0 人）	1 1, 0 0 0 人
浴 場	2 室（大浴室、中浴室）	6, 7 0 0 人
キ ャ ン プ 施 設	一般キャンプ場 2 か所（A ・ 6 0 0 人、B ・ 3 0 0 人） オートキャンプ場 5 区画、バンガロー 1 3 棟	2 1, 4 0 0 人
延 計 （無 料 利 用 者 を 除 く。）		4 7, 9 0 0 人

ウ、 施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

（４）愛知県緑化センター事業計画

ア、事業の実施

愛知県緑化センターにおいて、緑化に関する知識普及の場と機会を提供するため次の事業を実施する。

（ア）研修・教室

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
緑化研修	年２６回	１，３５０人	一般・地方公共団体・学校・企業の緑化担当者
みどりの教室	年１２回	３３０人	一般
野外教室	年１１回	３４５人	一般
野鳥観察会	年４回	１２０人	一般
みどりの学習教室	年３回	１６０人	みどりの少年団

注：上記以外に随時研修（樹木の見分け方、樹木の管理、園内案内、自然観察、ナチュラルクラフト他）を実施する。

（イ）緑化普及指導

緑化技術の普及啓発を図るため、緑化相談等を行う。

（ウ）公共施設緑化指導

公園、緑地、学校及び工場等を対象として現地指導を行う。

（エ）レクリエーション大会

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
みどりフェスティバル	年２回	—	来園者
紅葉のライトアップ	年１回	—	来園者

(オ) 展示事業

緑化の普及啓発を図るため、緑化に関する展示等を行う。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
展示事業	日本庭園の歴史	通年	—	来園者
	里山の役割	通年	—	
	生活に潤いをもたらす緑	通年	—	
	緑に関する普及啓発	随時	—	

(カ) その他事業

事業名	開催回数	募集定員	参加対象
季節の花めぐり	年17回	340人	来園者
ハーブ夢倶楽部	年14回	—	ボランティア
山野草倶楽部	年11回	—	ボランティア

イ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(5) 愛知県昭和の森事業計画

ア、事業の実施

愛知県昭和の森において、県民の健康増進のためのレクリエーション活動に関する場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
展示事業	昭和の森の野鳥写真等展示	通 年	—	来 園 者
	昭和の森を歩く会記録写真展示	通 年	—	
	昭和の森の生き物展示	通 年	—	
	樹 木 展 示	通 年	—	
	育林作業にチャレンジ	通 年	—	
	世界の森林分布図	通 年	—	
普及啓発事業		通 年	—	
昭和の森を歩く会		年22回	660人	

イ、有料施設利用数

施設の利用数は、次のとおりとする。

施設名	概 要	利 用 数
バーベキュー場	20区画（繁忙期は臨時増設有り）	1,436回

ウ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。

(6) 愛知県弥富野鳥園事業計画

ア、事業の実施

愛知県弥富野鳥園において、野鳥の保護に関する知識普及の場と機会を提供するため次の事業を実施する。

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
鳥類保護事業	傷病鳥の保護	年 50件	——	——
	傷病鳥への給餌	通 年	——	——
鳥類調査事業	生息調査	年 48回	——	——
	標識調査	年 40回	——	——
	水質調査	年 4回	——	——
野鳥保護の普及啓発事業	探鳥会	年 10回	各 20人	来園者
	ミニ探鳥会	年 10回	各 20人	来園者
	野鳥観察指導	年 89回	——	来園者
	野鳥写真展作品募集	年 1回	40作品	——
	ストーンペインティング教室	年 2回	各 20人	来園者
	夏休み自由研究相談	夏休み期間	——	小・中学生
	巣箱・えさ台づくり教室	年 2回	各 15組	来園者
	野鳥撮影会	年 2回	各 15人	来園者
	初心者のための野鳥講座	年 1回	15人	来園者

事業名		開催回数	募集定員	参加対象
	春休み親子探鳥教室	年 1回	15組	来園者
	企画展	年 9回	—	来園者

イ、施設の管理

設置目的に沿った適切な管理運営をするとともに、安全かつ快適な利用を期するため、施設・設備の安全管理、保守整備を行う。